

# かしま 議会だより



## 第89号

平成29年6月議会号

平成29年7月発行

発行／鹿島市議会 編集／議会だより編集委員会  
〒849-1312 佐賀県鹿島市大字納富分2643番地1 TEL63-2104 FAX63-2314



第62回市民体育大会マ스ゲーム

5月臨時会・6月定例会	p2～p3
議案審議	p4～p5
一般質問	p6～p11
意見書	P12
就任あいさつ・議会運営委員会	P13
委員会構成	P14
表彰・議会運営等改革検討会	p15
議会あれこれ・編集後記	p16





# 次のことを審議し決定しました

## 【5月臨時会】

議案番号	議案内容	杉原元博	片淵清次郎	樋口作二	中村和典	松田義太	中村一堯	稲富雅和	勝屋弘貞	角田一美	伊東茂	松本末治	徳村博紀	福井正	松尾征子	光武学	松尾勝利	採決結果	
議案第23号	専決処分事項の報告について(鹿島市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	承認
議案第24号	専決処分事項の報告について(平成28年度鹿島市一般会計補正予算(第7号))	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同上	賛成全員	承認
議案第25号	鹿島市個人情報保護条例及び鹿島市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同上	賛成全員	可決
議案第26号	鹿島市固定資産評価員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同上	賛成全員	同意

## 【6月定例会】

議案第27号	専決処分事項の承認について(平成29年度鹿島市国民健康保険特別会計補正予算(第1号))	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	承認
議案第28号	鹿島市農村婦人の家設置条例を廃止する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同上	賛成全員	可決
議案第29号	鹿島市税条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同上	賛成全員	可決
議案第30号	鹿島市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同上	賛成全員	可決
議案第31号	平成29年度鹿島市一般会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同上	賛成全員	可決
議案第32号	平成29年度鹿島市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同上	賛成全員	可決
議案第33号	佐賀県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増加及び同組合理約の変更に係る協議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同上	賛成全員	可決
議案第34号	平成29年度鹿島市一般会計補正予算(第2号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同上	賛成全員	可決
請願第1号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2018年度政府予算に係わる意見書の採択に関する請願	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同上	賛成全員	採択
意見書第1号	諫早湾干拓事業潮受堤防排水門の開門を求める意見書(案)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同上	賛成全員	可決
意見書第2号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元を図るための、2017年度政府予算に係わる意見書(案)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同上	賛成全員	可決

○…賛成 ×…反対 退…退席 欠…欠席 ※…(監査委員のため審議に参加できない)

平成29年 鹿島市議会  
5月臨時会会期日程

1、会期 平成29年5月6日  
2、日程

【5月】  
8日開会  
会議録署名議員の指名  
会期の決定  
議長の辞職  
議長の選挙  
副議長の辞職  
副議長の選挙  
議席の変更  
議案の上程  
(市長の提案理由説明)  
議案審議  
(質疑、討論、採決)  
閉会

平成29年 鹿島市議会  
6月定例会会期日程

1、会期 自平成29年6月6日  
至平成29年6月23日  
2、日程

【6月】  
9日開会  
会議録署名議員の指名  
会期の決定  
議案の括上程  
(市長の提案理由説明)  
10日休会

11日休会  
12日休会(議案研究)  
発言内容通告締切(正午)  
13日休会(議案研究)  
14日議案審議  
15日休会(議案整理)  
16日文教厚生産業委員会  
(請願審査)  
17日休会  
18日休会  
19日一般質問  
20日一般質問  
21日一般質問  
22日一般質問  
23日委員長報告  
議案審議  
(質疑、討論、採決)  
閉会



# 議案審議

議案第28号  
鹿島市農村婦人の家設置条例を廃止する条例の制定について



鹿島市農協 鹿島市農村婦人の家設置条例を廃止する条例の制定について

質問一 農村婦人だけでなく多くの婦人に親しまれた施設だった。機器が

古くなったり、故障したり、消耗品の不足等で利用者が減っていった。身近い所で、農作業の途中でも利用出来るのが良かった。この様な施設を充実させること。

答弁 今ミソづくりの三団体が利用されている。

こわすわけではないので利用してもらおう。「海道しるべ」もあるので利用してもらいたい。

質問二 使われていた機器の処分は。

答弁 産廃での処理もあるが予算があるので現場に置いておく。安全管理は十分にします。

質問三 金にかえる処分もあるのではないかと。

答弁 検討させてもらいたい。

議案第31号

平成29年度鹿島市一般会計補正予算について



鹿島市農協 鹿島市農村婦人の家設置条例を廃止する条例の制定について

質問 新規事業なので具体的に説明してください。

答弁 地方創生拠点整備交付金事業採択による。鹿島市に興味を持ち移住したいと思っている市外の方を、庄金の重伝建地区にある茅葺き屋根の空き家の水回りを中心に整備し体験料を頂戴し一ヶ月程度試しに住んでもらう。移住定住促進・空き家解消・地域の活性化につなげる。期間は10年

で、その後は所有者にお返しする。運営要綱を現在策定中で、所有者との賃貸契約もその中で取り決める。



議案第31号  
肥前浜宿移住体験施設整備について



肥前浜宿移住体験施設整備について

質問一 鹿島への移住希望者に対して地域や鹿島市としてどのように支援、関わっていくのか

一つの鍵になると考えます。鹿島市としてどのようにサポートしていきたいですか。

年退職者など、どのような方がこの施設を利用すると想定されていますか。移住希望者のニーズにあったサポートを鹿島市としてお願いします。

質問 新規事業として肥前浜宿移住体験施設整備に12,382千円の補正が提案されている。茅葺家を改修し体験移住を通して、浜町の重伝建造物や鹿島市の歴史・文化に関心をもつて頂き移住へと導く取り組みは賛同するが、家賃・体験期間・地元との関わり方など開始に向けて移住体験規約の見直しが必要ではないか。

伊東茂議員



議案第31号  
肥前浜宿移住体験施設整備について

答弁 体験期間は短すぎると観光目的となり13泊以上30泊以内と設定したい。家賃は日割りより月額4~5万と考える。期間中に相手方の目的を把握し、職業生活については商工会議所や関係機関と連携し体制を作る。



議案第31号

平成29年度鹿島市一般会計補正予算について



鹿島市農協 鹿島市農村婦人の家設置条例を廃止する条例の制定について

質問 6月補正において、芸術文化振興事業として、150万円が明治維新150年記念事業実施経費の増と計上されて

いる。この事業概要についてお伺いしたい。

答弁 この事業は鹿島藩唯一の勤王の志士である八澤棟之進について調査研究を行い、明治維新と鹿島藩との関係など報告書にまとめたいと考えている。これまでにない発見があれば期待している。又、佐賀県において



佐賀県のホームページより引用

議案第32号

平成29年度鹿島市公共下水道事業特別会計補正予算



鹿島市農協 鹿島市農村婦人の家設置条例を廃止する条例の制定について

質問一 下水道地域活力向上計画策定業務委託料

で鹿島市がモデル事業として選ばれた。鹿島市以外はどこが選ばれたのか。

答弁 東北地方の仙台市と鹿島市が全国で2つ選ばれた。

質問二 鹿島市独自で計画を立てる中で委託にあたって目的がどういうものであればと思ってい

るのか。

答弁 未来型下水道とは、本来の目的でなく下水道を地域の産業の育成に貢献するシステムを策定する。汚泥、生ごみ、残さを有効活用し農業へ利用して、生産された農産物を販売するなど産産間の連携をとって地域連携ができないか検討する計画を策定し、こうい

議案第31号

地域活性化のための振興補助金の活用状況について



鹿島市農協 鹿島市農村婦人の家設置条例を廃止する条例の制定について

質問 地域振興事業補助金の採択状況と対象事業の内容はどんなものがあるか。

答弁 コミュニティ助成事業が3件で地区振興会の活動用備品テント、公民館の改修、防災備品として避難所投光器・テント等。

全区長に制度を説明し、補助率、採択条件等を勘案し各地区のやりやすい方法で申請してもらっている。

市民総参加 8月4日(金) 5日(土) 両日 19時 スタート

期間中の催し 8月5日(土) 17時~21時 かしま夜市

第54回 鹿島おとろし

場所: ビオ北側駐車場

場所: 鹿島市中心商店街 スカイロード周辺

# 一般質問

## 中村地区(鹿島警察署跡)の市営住宅建設



福井 正 議員

**質問一** 中村地区に市営住宅がPFI方式で建設される予定だが、市民の皆様はPFIについてご存じない。まず説明を。現在の進捗状況は。市営住宅の全体予算とSPC(民間で作る建設管理会社)市営住宅の所有権は。大規模改修時の費用負担は。家賃と駐車料金と台数は。市営住宅の採算居住率は。民間アパートの居住率調査は。市民会館建設等にPFIが使えるのか。

**答弁** PFIは行政と民間が共同で建設する。国庫補助45%、残りをSPCが借り入れや出資で賄



みやき町のPFIでの市営住宅

### 中小零細商工業の現状と対策

**質問二** 商工会議所の調査で後継者がいない中小

零細商工業は54あった。全国調査では50%がいないと答えている。このまま推移すると、鹿島市の活力がなくなり、消費者の利便性が失われる。市の認識と対策は。調査されたことがあるか。

**答弁** 市として調査していないが県の経済センサスでされた資料がある。鹿島ビジネスサポートセンターで相談や指導をしている。後継者への補助制度はないが経営者に対して制度融資がある。新規起業者には100万円を限度に補助制度がある。

**質問三** 鹿島市の保育園、幼稚園、小中学校の虫歯の状況は。兵庫県の虫歯調査で、未治療の虫歯が10本以上ある(口腔内崩壊)生徒が35%の学校で見つかった。放置すれば発育に影響があるが鹿島市の現状と対策は。

**市役所正規職員雇用を**

**松尾 征子 議員**

**質問一** 定住人口を増やしていく手段として安定して働ける就労の場が必要。減らされ続けている市の職員を増やすことを提案する。

**答弁** 市の職員を増やせと我々から言うのは適当でないと思う。人件費の問題、他の企業との比較からいっても市の職員からというのは、市民の皆様さんの気持ちからいってもおかしい。増やすという事は相当議論を詰める必要がある。

**質問二** 市の業務は複雑で業務量も増えている。このことは市民サービスの低下につながる。と同時に職員の健康管理上も問題である。メンタルを含め長期休暇が多い実態

でもわかる。福祉の業務など若い職員を育てる余裕がないため、退職したベテラン職員に任されている。日曜・祭日はもちろん昼夜の関係なく仕事が入る。正規職員と違い待遇も悪い。このようなことは許せない。市の職員を増やすと言えないというが、職員も市民。税金も払うし、買い物もする。家族もできる。市やまちの活性化につながる。Uターン、又、職のない人を採用することで後継者の問題解決にもなる。

**答弁** 職場を確保することの大切さは分かる。しかし、スタートを市役所からというのとはわからない。市民に理解を得られない。市民から「仕事が大変だから職員を増やせ」という声は聞かない。

**質問三** 職員を増やせという声は聞かないというが、市民に対して市の職員がどうであるか市長が知らせるべき。市長自身がまず職員の仕事の実態をよく知っていない。市民から職員のことを言われたとき、まともに対応する自信がないのでは。たまには市内を回り仕事の実態を見たり、意見を聞くこと。

**答弁** 職員の採用にこだわることがわからない。市役所から始めるということとは違う。ここが折り合わない限りこれは平行線。



## 鹿島市の防災活動について



片瀬 清次郎 議員

**質問一** 災害時、いざという時に頼りになるのがその地域の人達。地域の防災力を充実させる目的で「自主防災組織」がある。市内の組織の設置状況と活動は。

**答弁** 市内26組織、加入世帯が90%である。山間部や人口が少ない地域で空白がある。地域の危険箇所の点検や周知予防、避難訓練等が重要な活動である。

**質問二** 浜町自主防災組織の訓練に参加した際、防災組織のリーダー「防災士」の必要性を強く感じた。

**答弁** 自主防災組織には、避難所の開設運営、避難の手助け、減災活動等のリーダー役となる

**「防災士」が必要である。鹿島市には現在31名の防災リーダーの養成のために育成事業を積極的に進めている。**

**質問三** 防災ハザードマップ、避難誘導看板の設置に向けた今後の取り組みは。

**答弁** 防災意識向上と迅速な避難に役立つハザードマップは新たな作成時期にきており、県の調査後、最新のものに替えていく。避難誘導看板は設置に向けて準備、整備を進めていく。

### 健康増進について

**鹿島市民の健康増進について**

平成35年佐賀国体開催。鹿島市で、アーチェリー、軟式野球が開催されます。私たち市民にもスポーツに触れる機会、見る機会、支える機会等、楽しみが増えてくると思います。



**質問一** 蟻尾山のクロカコンコース、グラウンドゴルフ場は多くの利用者に親しまれているが、近年コースや芝の傷みが激しくなってきた。整備計画はあるか。

**答弁** 日頃から維持補修に努めているが、根本的な改修が必要だと考えている。

**質問二** クロカコンコースは早朝や夜間も多くの人が利用している。一部照明がない所があり危険だ。照明を設置する考えはあるか。

**答弁** 照明のない所は、安全安心の面からも、整備に向けて検討したい。

## ひきこもり等に関する実態と対策について



杉原 元博 議員

**質問一** 「引きこもりにある人」の定義は。

**答弁** 厚生労働省の資料によると、社会的参加を回避し、原則的には6ヶ月以上にわたって概ね家庭にとどまり続けている状態。

**質問二** 鹿島市における「引きこもり状態にある人」の実態把握と現状について。

**答弁** 市内全民生委員・児童委員対象に行った調査では、引きこもりの人数は33人で男性21人、女性8人、性別不明4人。年代別では10代3人、20代3人、30代6人、40代7人、50代9人、60代以上が5人だった。

**質問三** 「佐賀県引きこもり地域支援センター」の開設を受けて、市の今後の対応は。

**答弁** 対象者が若者だけでなく、全ての年代という事で、生活困窮者自立相談支援事業や就労準備支援事業など多くの場面で連携していく必要があると認識している。

### 一般廃棄物に関する行政の役割と責任

**質問一** 鹿島市は環境行政の面で他市町と比較して優れていると思うが、一方でルールが守られていない。その実態を把握しているか。

**答弁** ルール違反ゴミは、違反ゴミ袋に注意書きのシールを貼り注意を促す。不明な場合は、収集業務されている業者からゴミの場所・種類・内容などを担当者へ連絡が入り、その都度適切な処

**質問二** 産業廃棄物との区別がわかりにくいという問題があり、市民への啓発活動や研修会が必要では。

**答弁** 出前講座の開催やゴミ分別の冊子配布、市報を通してお知らせしているが、引き続き啓発活動に努めていきたい。

**質問三** 不法投棄やゴミの散乱などの現状と対策について。

**答弁** 海岸清掃や河川清掃を市民の方で行っていただいている。不法投棄は未だ月に2~3件程度あっており、発見次第回収を行っている。一部悪質な不法投棄の対応に苦慮し、山間部や海岸等を重点に週1回パトロールを行い、集中する場所に監視カメラを設置し対応しているが減少しない。



一般質問

奨学金と鹿島高校・鹿島実業高校再編について



徳村 博紀 議員

質問一 鹿島市が運営する奨学金の設立はできないのか。また若者定住促進策として卒業後鹿島市に戻ってきて就職・起業した場合、奨学金免除もしくはは無利息など、鹿島市に帰ってきやすい環境作りとしての考えはないのか。

答弁 平成28年度からは、地方創生の交付金メニューとして総務省が奨学金を利用した大学生等の地方定着の促進策として地方創生・奨学金返還支援制度を創設されており、徳村議員の提案に沿った制度になっている。この制度は、県レベルで地元企業界と県が連携して基金を創設し、地元企

業に就職した人に対して奨学金返還補助・無利子の貸与をするという制度で、取り組んだ県に対して国から特別交付税措置がなされる。鹿島市としても佐賀県の取り組みに合わせた形での制度設計が必要になる。研究させていきたい。

質問二 鹿島高校と鹿島実業高校は今後どのような形で運営されるのか、また、再編に伴い生徒や保護者への負担や注意点はありますか。

答弁 平成30年4月に鹿島高校と鹿島実業高校が再編され新しく「鹿島高校」となる。旧鹿島高校は「赤門学舎」として普通科5学級（定員200人）（平成31年度または32年度に4学級・定員160人）となる。旧鹿島実業は「大手門学舎」として商業科1学級（定員40人）、食品調理科1学級（定員40人）となる。

鹿島実業の2・3年生の情報処理科は卒業までのままで、再編前の両校入学者は、それぞれの高校を卒業することとなり、両校は平成31年度末に閉校することになっている。統合に対しての注重点としては学級数が減少する事を踏まえ、入試倍率が現状より若干上昇することが考えられる点に注意を払う必要がある。



発達障がい者増の対策について



樋口 作二 議員

質問一 鹿島市の現状とその対応について。

答弁 発達障がい者は、先天的な脳機能障害で中枢神経のトラブルが起きて発現すると考えられている。小・中学校では特別支援学級やまなびの学級を開設して対応し、入級者は次第に増加している。

質問二 発達障がい者が増えている原因は何か。

答弁 様々な研究がなされているが、なぜ増加しているかはよく分かっていない。

質問三 環境的要因は考えられないか。

答弁 遺伝的要因のほか、親の愛情不足とかワクチンが問題であるとかいう説もあるが、何が原因

因かは分からないのが現状である。

質問四 家庭用殺虫剤や農業に使用されているネオニコチノイド系薬剤の影響で発達障害様の症状が出ていとする研究もあるが、市ではどのように考えているか。

答弁 ネオニコチノイド系薬剤は、昆虫には効き目があるが、人には安全といわれており、国レベルでの危険性の検証はない。

地方創生の成果と今後の展望について

質問一 鹿島市の施策の成果と課題は。

答弁 様々な分野で積極的な取り組みができ、人口減少は、社人統計より緩やかになった。また、地方創生関連の交付金の活用で市民の活躍が各方面でみられるようになった。

質問二 明治維新150年記念事業と地方創生の



れ、又、完成までどれくらいの時間を要するのか。

答弁 今年度も3千万の予算が計上されている。着工の用途は、まだわからないが、早期着工に向け関係自治体と積極的に要望活動を行っている。

鹿島市の職員採用について

質問 今後、地方行政において、人材の確保、人材育成が急務。庁内の活性化を含め、採用強化が必要と思われるが、担当課の見解は。

答弁 確かに認識はしているが、人口減少等、本市を取り巻く環境も厳しくなっており、今後の市政運営、財政状況を考慮しながら、職員採用に努めていきたい。



鹿島市が直面している政策課題について

歴史的風致維持向上計画（歴史まちづくり法）について

質問 本年度より「歴史まちづくり法」の認定に向け準備が進められているが、国へ申請する計画書の歴史的風致の認定基準、重点地域、国庫補助について問う。

答弁 第6次総合計画を基本に文部科学省、国土交通省、農林水産省と協議を行い策定していく。鹿島城址、宿場町、祐徳神社、有明海と自然など素材を活かし、面的に整備を図る。社会資本整備総合交付金を利用したい。

市民会館建設について

松田 義太 議員

質問一 市民会館について、以前、「平成28年度に実施計画の策定、29年度は調整期間、30年度に解体着工の予定」と答弁されている。しかし、進捗はかなり遅れているが、取り組み状況についてお伺いする。

答弁 市民会館建設に有利な補助金、交付金に該当させるため、都市計画の策定を進めていたが、社会整備交付金等の見込みが多く望めないなど厳しい状況である。

質問二 館内設備（空調、耐震等）などを考慮した場合、現市民会館の使用期限（リミット）をいつぐらいまでと考えて

有明海沿岸道路について

質問 福富・鹿島間については、平成27年度から事業化に向けた測量、現地調査が進められているが、実際いつごろ着工さ

将来へ向けての鹿島市観光戦略



伊東 茂 議員

質問一 酒蔵ツーリズムや伝承芸能フェスティバルなど短期イベントやインバンド効果で鹿島市を訪れる年間観光客数は増加傾向だが、今後の戦略を考えると通年型観光客誘致が課題である。拠点地域（祐徳門前・浜宿・道の駅鹿島）連携促進のシステム構築の計画は。

答弁 拠点施設を「点」から「線」へと結び、更に「面」的な利活用と連携を図る施設整備を検討する。祐徳門前地区は公共下水道整備、浜宿は駅舎・駅前広場整備とまちなみ整備、道の駅鹿島は観光関連施設整備を計画、更に、市内を回遊する観光循環バスを国土交

通省へ申請する。

質問二 「海道しるべ」で開催された官民連携によるドレッシング・ジャム・ヨーグルト・佃煮・菓子類を三拠点地域で販売することにより鹿島の魅力度を広く伝える手段と考えるが。

答弁 産業活性化施設「海道しるべ」の成果を発表でき、アンテナショップは有効な手段と考えるが、検討していく。

質問三 体験観光ルートとして浜宿から祐徳門前地区までの河川改修区間の河川道路を利用しサイクリングロードとして整備利用できないか。

答弁 河川改修促進期成会から下古枝の河川に親水公園の要望も聞いている。サイクリングロードと共に土木事務所と協議していく。



一般質問

一般質問

どうなる来年からのコメの減反見直し



中村 和典 議員

質問一 平成30年産からコメの生産調整が見直されることになったが、どうなるのか。

答弁 これまでは、国から水田農家へ「生産数量目標の配分」を行ってきたが、これからは、県や市の農業再生協議会から水田農家へ「生産の目安」を提示することになる。

質問二 鹿島市農業再生協議会としての取り組みは。

答弁 今のところまだ方針は決めていない。9月に幹事会を開き、10月の臨時総会で決める予定である。

質問三 経営所得安定対策のための交付金は、どうなるのか。

答弁 これまでのゲタ対策・ナラシ対策・水田活用の直接支払交付金は継続されるが、10アール当たり7500円支払われていた米の直接支払交付金は廃止されることになる。

質問四 米の生産調整は、何故5年も続けるのか。

答弁 米の需要（消費）に応じた量を生産するためには、続ける必要がある。

健康づくり

質問一 「バランスのとれた食事」「適度な運動」

「定期的な検診・健診」の実践を通じた鹿島市の健康づくりの取り組みは。

答弁 食事は、食育推進基本計画に沿って、生活習慣病予防教室などを実施している。運動は、65歳以上を対象に、ロコモティブシンドロームの予防



のための運動教室などを実施している。検診については、疾病予防、早期発見、早期治療、重症化予防のため各種検診や保健指導を実施している。

質問二 健康状態を裏付ける各種検診の取り組みは。

答弁 胃がん・肺がん・大腸がん・乳がん・子宮がん・特定健診を実施しているが受診率が低いので今後も受診率の向上に努めたい。

鹿島市の観光の現状と課題について



角田 一美 議員

質問一 近年観光客数は急激に増加しているが、1人当たりの観光消費額は前年を下回っている。現状と課題をどう分析しているか。

答弁 外国人観光客の増大年間359万人を超え増加傾向にある。観光消費額は27億円台で推移し全体は増加しているが1人当たりの消費額は772円と低い。宿泊施設が少なく市内滞在時間が短く、食事が少ない為消費額が少くない。

質問二 観光協会の現状と課題をどのように把握されているのか。組織体制を強化すべきではないのか。

答弁 観光協会の現状と課題をどのように把握されているのか。組織体制を強化すべきではないのか。

質問二 観光拠点間の連携をどう図っていくのか。

答弁 「肥前浜駅・浜宿」・「祐徳稲荷神社・門前商店街」・「道の駅鹿島」を拠点地域として位置づけ整備される施設を強く結び、一つのゾーンとして形づくり学習・体験・交流で市内滞在時間を伸ばし、鹿島御膳・食の開発、「海道しるべ」で開発した地元特産品の販売等で雇用、産業、まちの賑わい創出を図っていく。

質問三 市と観光協会の役割分担はどうしているのか。

答弁 観光協会の現状と課題をどのように把握されているのか。組織体制を強化すべきではないのか。



協議会や実行委員会に職員が参加し協力体制を密にしている。観光協会の人員体制は、会長1名、副会長2名、職員5名、パート2名で職員1名は市からの派遣職員（嘱託）である。課題は、委託事業、補助金が減少している中で、インバウンド客増加に対する更なる対応と継続した人材の育成と考えている。

鹿島市における

学校教育現場の改善について



勝屋 弘貞 議員

質問一 学校職員にとって職場である学校は、子供たちにとっては様々な体験・経験を通じ自己を発見し成長していく非常に重要な場所である。長時間労働問題をはじめとする業務の改善は、一番大切な未来の業務である

「子どもたちと向き合う時間の確保」に繋がり、誇りとやりがいのある職場の構築は喫緊の課題だ。現場の声はしっかりと教育委員会に届いているか。

答弁 学校現場が年々忙しくなっていることは認識している。市内教職員194人の声は、「ヒヤリング実施状況調査」として、毎月、各校長よ

り文書での報告がある。緊急の場合には教育委員会に足を運んでもらうこともある。総合教育戦略会議でも「教職員の多忙化解消」を協議中で、次回会議には各校長を招き、協議をする予定である。

質問二 昨年度のふるさと納税で、教育関係に指定された1590万2千円を加配教職員配置のため予算に使えるか。

答弁 ふるさと納税は単に一般会計の代わりになるものでなく、次の寄付に繋がるような魅力的な事業に活用したい。教育文化の向上についても、実施計画の段階で翌年度の予算に充当する予定で、教育委員会より申し出があった分に使用したいと考えている。

質問三 業務改善の視点を持った組織体制が、各学校で構築されているか。

答弁 組織運営・校務分掌を担う「プロジェクトチーム」を編成している学校が数校ある。学校経営方針を具現化していく中で、協働的な学びと問題を共有し解決しようとする同僚性を培う事が出来る。ベテランの経験と若手のアイデアが融合し、理想的な校内組織を形成する事が出来ると思える。



市民と議員の意見交換会

～あなたの声を聴かせてください～

6地区開催!!

8月21日(月) 19時30分～21時



鹿島地区

場所：市民交流プラザ（かたらい4階）  
主要テーマ 「鹿島の防災」「モリナガ周辺市道整備」他

能古見地区

場所：能古見公民館（ふれあい楽習館）  
主要テーマ 「中山間地域の振興」「治山治水対策」他

8月23日(水) 19時30分～21時



浜地区

場所：浜町公民館（臥竜ヶ岡体育館）  
主要テーマ 「農業後継&法人化」「ノリ漁場のカモ対策」他

七浦地区

場所：七浦公民館（漁村センター）  
主要テーマ 「道路整備&高潮対策」「人口減少高齢化問題」他

8月28日(月) 19時30分～21時



古枝地区

場所：古枝公民館  
主要テーマ 「祐徳門前下水道整備」「浜川河川改修」他

北鹿島地区

場所：北鹿島公民館  
主要テーマ 「農業後継者問題」「鹿島市中村住宅整備」他

### 意見書第1号 諫早湾干拓事業潮受堤防排水門の開門を求める意見書

諫早湾干拓事業による潮受堤防が開め切られて20年が過ぎた。平成28年度海苔漁期は、渦鞭毛藻類であるギムノディニウムによる赤潮が発生し広域的に滞留したため、特に佐賀県西南部で色落ち被害が深刻化するなど極めて厳しい生産となった。

堤防開め切り後の異変は現在も続いており、宝の海有明海への影響は、底生生物から始まり、今ではタイラギ、アゲマキ、モガイ、アサリなど魚介類の漁獲量が激減するに至っている。有明海は、潮受堤防が建設されたことで潮流が変化し、さらに排水門からの排水により赤潮及び貧酸素水塊が頻繁に発生するなど、漁場環境の悪化が懸念されている。

このような中、漁業者は毎年水揚げに不安を覚えながら漁期に臨んでいるが、漁業への魅力を見いだせず廃業に至る後継者が増加しており、地域の主要な産業としての漁業が衰退の一途をたどる状況となっている。

漁業者の願いは、「一度きりの基金案」ではなく、福岡高裁で確定した潮受堤防の開門による調査を速やかに実施することである。

よって、政府及び国会に対し、宝の海有明海の再生のために、次のことを強く求める。

記

- 1 福岡高裁の確定判決に基づき、万全の対策を行った上で、開門による調査を早期に実現すること。
- 2 和解案による「一度きりの基金案」ではなく、有明海再生事業としての基金を設け、水産資源回復のための事業を推進すること。
- 3 諫早湾干拓調整池からの排水については、こまめに行うこと。
- 4 有明海で発生している貧酸素水塊を解消させるための対策を実施すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成29年6月23日

佐賀県鹿島市議会

内閣総理大臣 安倍 晋三 様 衆議院議長 大島 理森 様 参議院議長 伊達 忠一 様  
 農林水産大臣 山本 有二 様 環境大臣 山本 公一 様

### 意見書第2号 教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元を図るための、2018年度政府予算に係わる意見書

日本の教育への公的支出は国内総生産の約3%で、これはOECD諸国の中で常に下位という悲惨な状況である。そのような中で、障害者差別解消法の施行に伴う障がいのある子どもたちへの合理的配慮への対応や、いじめ・不登校問題、子どもの貧困問題など、学校をとりまく状況は複雑化、困難化しており、学校に求められる役割は拡大している。特に、特別支援学級適の児童数増加、さらには一般のクラスにも支援が必要と思われる児童が在籍している、突発的な行動の対応に担任が追われる事例が増えている。こうしたことを改善し子どもたちをしっかりと育てていくためには、専門的な知識を持った教員を含む計画的な教職員定数改善が必要である。

第7次教職員定数改善計画の完成後10年以上の間、国による改善計画のない状況が続いていたが、今年度は文部科学省の概算要求で、教職員定数の拡充を目指す方針が打ち出されている。特別支援教育コーディネーターの専任化を含めて、一人ひとりの子どもたちへのきめ細かな対応や学びの質を高めるための教育環境を実現するためには、学校現場の現状を踏まえた教職員定数の改善が不可欠である。

義務教育費国庫負担制度については、「三位一体改革」の中で国庫負担率が2分の1から3分の1に引き下げられた。いくつかの自治体においては、厳しい財政状況の中、独自財源による定数措置が行われているが、国の施策として定数改善にむけた財源保障をし、子どもたちが全国どこに住んでいても、一定水準の教育を受けられることが憲法上の要請である。

子どもの学ぶ意欲・主体的な取り組みを引き出す教育の役割は重要であり、そのための条件整備が不可欠である。こうした観点から、2018年度政府予算編成において下記事項が実現されるよう強く要望する。

記

- 1 子どもたちの教育環境改善のために、計画的な教職員定数改善を推進すること。
- 2 教育の機会均等と水準の維持向上を図るため、義務教育費国庫負担制度の国庫負担割合を2分の1に復元すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成29年6月23日

佐賀県鹿島市議会

内閣総理大臣 安倍 晋三 様 衆議院議長 大島 理森 様 参議院議長 伊達 忠一 様  
 総務大臣 高市 早苗 様 財務大臣 麻生 太郎 様 文部科学大臣 松野 博一 様

## 議長に松尾勝利氏、副議長に角田一美氏

先般、全議員で協議を行い、「議長・副議長の任期を2年とする。但し、再任は妨げない」と申し合 わせました。よって、先5月8日の市議会臨時会におきまして、議長・副議長の選挙を行いました。

議長 松尾勝利

副議長 角田一美

この度の選挙の結果、名誉ある鹿島市議会議長に再任いただき、議長職5年目の重責に、身が引き締まる思いであります。さて、現在の国の動向は、平成26年11月に「まち・ひと・しごと創生法」を成立、地方の人口減少や雇用拡大の問題を解決し、地方の活性化を目指してまいります。

我が鹿島市は、平成28年度に策定の『第六次総合計画』において、目指す都市像を「みんなが住みやすく、暮らしやすいまち」と掲げ、「しごと・ものづくり・ひとづくり・まちづくりの好循環を目指す」ことを基本理念として、人口減少や少子高齢化などの地域課題に向き合い、鹿島の魅力を活かしたまちづくりに取り組んでいます。

近年、予想だにしない災害が身近に発生した事により、市民においては、「安全・安心」のまちづくりが一番求められています。このことを踏まえ、昨年度、新世紀センターの建設や市内全世帯へ防災情報受信機設置を実施し、ハード面では全国でも高い水準の整備を有することになりました。

今後の課題は、限られた予算の中で、子どもや障がい者、高齢者が、鹿島市で健やかに暮らせるよう、いかに福祉の向上を図るかだと感じています。この他、市民に直結した施設等の建設について、効率よく使い勝手の良い施設を、市民や行政、議会と一緒に模索する必要があります。

さて、私たち議会は、さまざまな課題について、市民の負託に応えることができるよう、しっかりと議論ができる開かれた議会づくりを目指しています。私も、円満な議会運営と鹿島市のますますの発展のため、最善を尽くしてまいります。

今後とも、市民の皆様のご理解とご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

5月8日の臨時市議会において、議員各位からのご支持によりまして副議長に就任いたしました。2期目で副議長という大役を任せられ、改めて責任の重大さに身が引き締まる思いであります。

地方分権と地方創生が推進され、特色を生かした魅力ある安全・安心なまちづくりが求められる時代であります。二元代表制の一翼を担う議会として、行政の監視機能、提案機能など議会の諸機能を発揮するのは勿論のこと、議会改革を更に推進し、市民の皆様の声

を的確に把握し市民生活、市民福祉の向上を目指し、議長の後継者として、議会の公正かつ円滑な運営に努めてまいります。

### 議会運営委員会委員

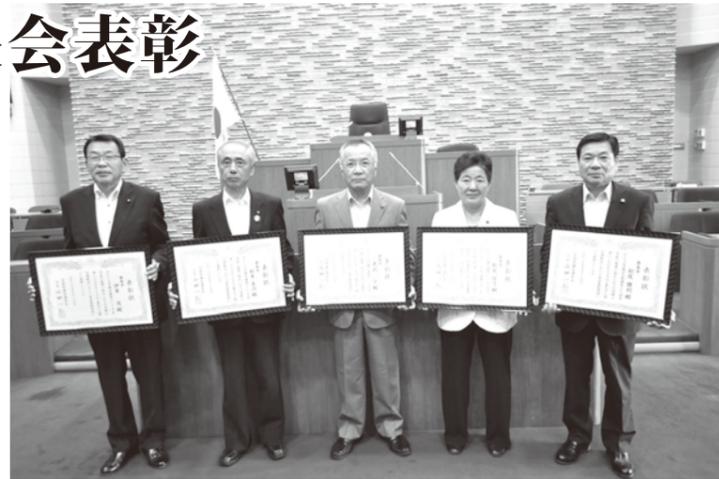
委員長	福井 正
副委員長	徳村 博紀
委員	光武 学
	伊東 茂
	勝屋 弘貞
	稲富 雅和

会期日程、議事日程等議会運営に関する事項及び議長の諮問事項等を審議します。



# 全国市議会議長会表彰

去る5月24日、東京都で開催されました第93回全国市議会議長会定期総会において、正副議長4年以上で松尾勝利議長、議員35年以上で松尾征子議員、議員10年以上で光武学議員、松本末治議員、伊東茂議員、松尾勝利議長が表彰されました。



## 【鹿島市議会運営等改革検討会 組織図】

### 鹿島市議会運営等改革検討会

会長 松尾議長

副会長 角田副議長

#### 議会報告会プロジェクト（8名）

【課題】

- ① 組織体制
- ② 日程等開催内容等

- 杉原 元博議員
- 中村 和典議員
- 松田 義太議員
- 中村 一堯議員
- ◎伊東 茂 議員
- 松本 末治議員
- 松尾 征子議員
- 松尾 勝利議長

◎ チーム長

#### 議場開放・ICTプロジェクト

【課題】

- ① 子ども議会
- ② 女性議会の開催
- ③ ICTを使った広報広聴

- 片淵清次郎議員
- 樋口 作二議員
- 稲富 雅和議員
- 勝屋 弘貞議員
- 光武 学 議員
- 徳村 博紀議員
- ◎福井 正 議員
- 角田 一美副議長

○ 副チーム長

鹿島市議会運営委員会

鹿島市議長

## 【常任委員会】

### 総務建設環境常任委員会委員



- |      |             |
|------|-------------|
| 委員長  | 光武 学        |
| 副委員長 | 中村 和典       |
| 委員   | 杉原 元博 徳村 博紀 |
|      | 松田 義太 福井 正  |
|      | 松本 末治 松尾 勝利 |

市政一般、企画・防災、公共施設・道路施設、ごみ処理・公共下水道等に関する事務の調査及び議案、請願、陳情等の審査を行います。

### 文教厚生産業常任委員会委員



- |      |             |
|------|-------------|
| 委員長  | 稲富 雅和       |
| 副委員長 | 勝屋 弘貞       |
| 委員   | 片淵清次郎 松尾 征子 |
|      | 伊東 茂 中村 一堯  |
|      | 樋口 作二 角田 一美 |

教育、福祉厚生、保険健康、産業、経済に関する事務の調査及び議案、請願、陳情等の審査を行います。

## 【特別委員会】

### 地方創生対策特別委員会



- |      |            |
|------|------------|
| 委員長  | 中村 一堯      |
| 副委員長 | 樋口 作二      |
| 委員   | 杉原 元博 光武 学 |
|      | 稲富 雅和 福井 正 |
|      | 松本 末治      |

地方人口ビジョン・地方創生総合戦略等に関する諮問等の調査・研究を行います。

### まちづくり推進構想対策特別委員会



- |      |             |
|------|-------------|
| 委員長  | 徳村 博紀       |
| 副委員長 | 勝屋 弘貞       |
| 委員   | 片淵清次郎 伊東 茂  |
|      | 中村 和典 松尾 征子 |
|      | 松田 義太       |

様々な公共施設の再整備（市民会館、JR肥前鹿島駅周辺整備等）に関する諸問題の調査・研究を行います。

# 議会あれこれ

(平成29年4月～6月)

## 4月

- 5日 議会だより編集委員会
- 12日 議会だより編集委員会
- 14日 議会だより編集委員会
- 19日 佐賀県市議会議長会
- 24日 議会運営委員会
- 27日 九州市議会議長会 理事会・総会

## 5月

- 8日 5月臨時会  
全員協議会
- 15日 議会運営委員会
- 16日 佐賀県市議会議長会議長研修 (～18日)
- 23日 臨時佐賀県市議会議長会
- 24日 全国市議会議長会総会
- 25日 市議会議員共済会代議員会
- 29日 全員協議会  
総務建設環境委員協議会  
文教厚生産業委員協議会
- 30日 PFI事業(公営住宅)の視察研修(みやき町)

## 6月

- 7日 議会運営委員会
- 9日 6月定例会 開会 議案の上程(～23日)  
全員協議会  
まちづくり推進構想対策特別委員会  
議会報告会プロジェクト
- 10日 鹿島市・韓国高興郡友好結縁20周年記念式典
- 14日 6月定例会 議案審議 質疑、討論、採決  
地方創生対策特別委員会  
議会報告会プロジェクト
- 16日 文教厚生産業委員会
- 19日 6月定例会 一般質問 (～22日)  
議会運営委員会
- 20日 全員協議会
- 22日 議場開放・ICTプロジェクト

- 23日 6月定例会 議案審議、質疑、討論、採決、閉会  
全員協議会  
議会報告会プロジェクト
- 28日 議会だより編集委員会

## 行政視察受入状況

(平成29年4月～6月)

4月26日 三重県四日市市議会 8名

5月15日 大阪府茨木市議会 8名

5月17日 宮城県名取市議会 9名

6月27日 神奈川県箱根町議会 7名

## 議長交際費を公表します。

金額単位：円

区分	4月		5月		6月		合計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
弔慰	0	0	0	0	0	0	0	0
見舞い	0	0	0	0	0	0	0	0
祝儀	1	3,000	1	5,000	0	0	2	8,000
会費	1	4,000	3	10,000	4	17,000	8	31,000
接遇	0	0	0	0	1	14,140	1	14,140
その他	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	2	7,000	4	15,000	5	31,140	11	53,140



## 編集後記

今年の梅雨末期豪雨は大量の流木を鹿島市の海岸にもたらし、通常の市民生活を取り戻すためには、幅広い危機管理と機敏な対応力の必要性を教えてくれました。撤去作業に携わられた漁業協同組合を中心とする関係者の皆様、お疲れさまでした。また、鹿島市の有明海沿岸は筑後川の流水の影響が極めて大きいことを学び、今後の有明海を考える上での参考にもなりました。今回の議会だより6月号より、私たちが編集委員を担当します。真摯に職務を成し遂げる市政と市民の負託に応えるべく意欲的に活動する議員の姿勢をありのままにお伝えしていきます。

【編集委員】  
委員長 樋口 作二  
副委員長 稲富 雅和  
委員 松本 未治  
顧問 角田 一美

※この議会だよりは、全て原稿提出者の責任により編集されています。

